



杉森だより

令和8年2月27日
調布市立杉森小学校
校長 濱松 章洋

<https://www.chofu-schools.jp/sugimori-sho/>

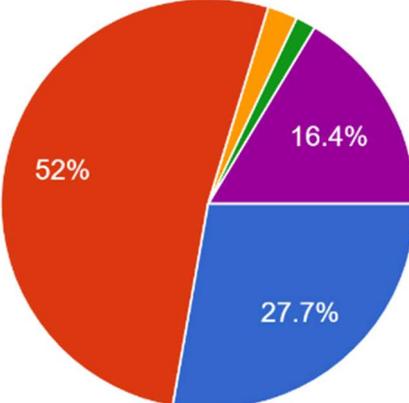
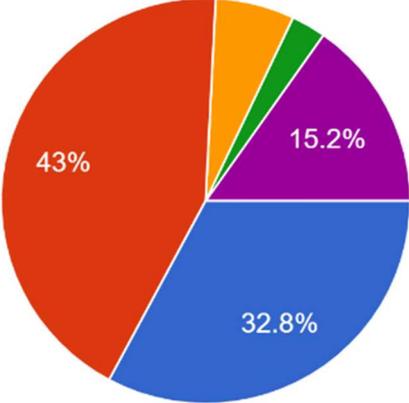
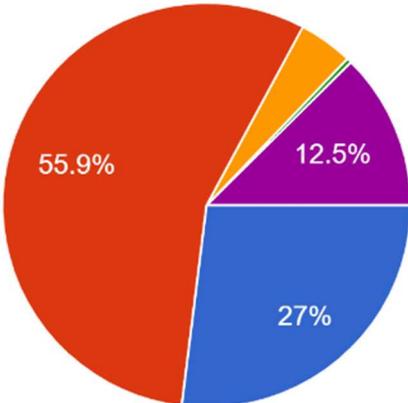
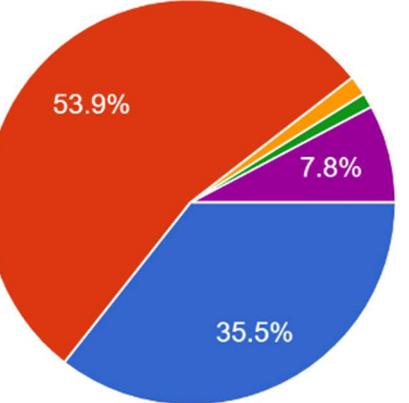
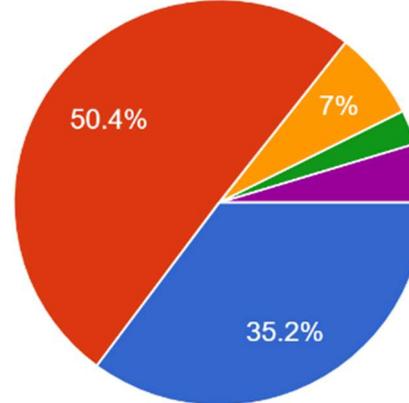
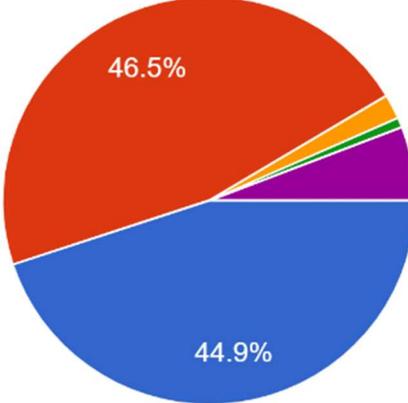


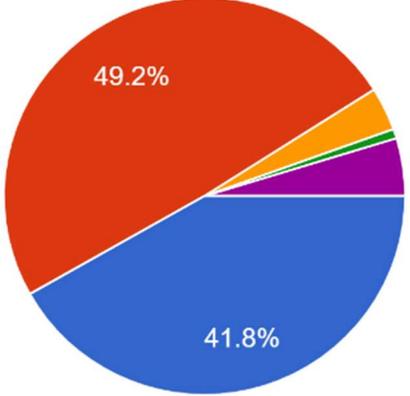
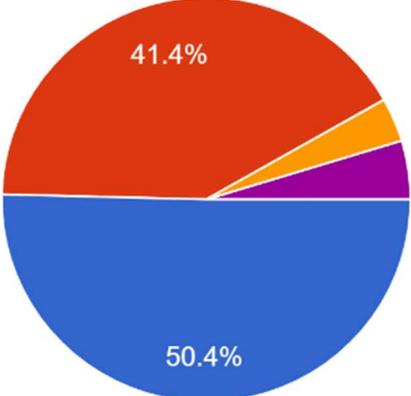
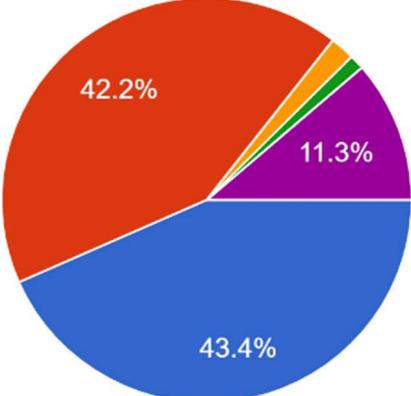
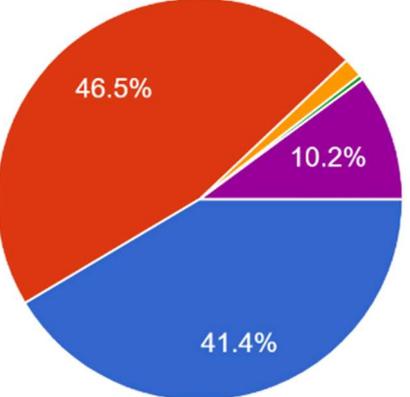
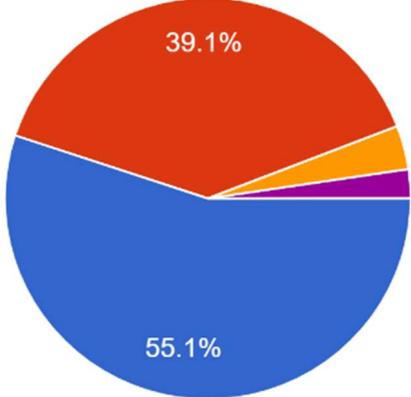
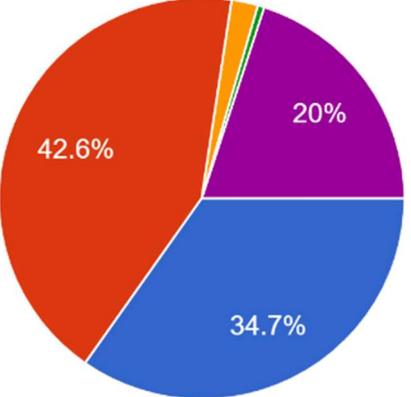
sugimori-sho@chofu-schools.jp

「令和7年度教育活動保護者アンケートの報告」

<アンケートについて>家庭数:524 回答数:256 回答率:48.9%

■⇒よく当てはまる ■⇒当てはまる ■⇒やや当てはまらない ■⇒当てはまらない ■⇒分からない

<p>①学校は、あいさつ指導・廊下歩行・適切な言葉遣いなどの生活指導に取り組み、子どもたちの「相手意識」を高めている。</p>	<p>②学校は、いじめ防止対策委員会や学校の教員みんなで子どもたちに関わり指導するなどのいじめ未然防止・早期発見・早期対応の充実に取り組み、子どもたちの「相手意識」「行動力」を高めている。</p>	<p>③学校は、学習規律の定着や対話・iPad を効果的に活用して自分の考えを伝える学習の充実に取り組み、子どもたちの「相手意識」「行動力」を高めている。</p>
		
<p>④学校は、子どもたちが主体的に学習に取り組む授業の改善や地域の人材・特色などを生かした体験学習などに取り組み、子どもたちの「行動力」を高めている。</p>	<p>⑤学校は、すべての子どもたちが運動に親しみ楽しむことができる体育の授業改善及びスポーツフェスティバルの実施に取り組み、子どもたちの「体を動かすことが好き」という気持ちと「行動力」を高めている。</p>	<p>⑥学校は、係活動や縦割り活動・鼓笛活動などを生かした指導に取り組み、子どもたちの「自己有用感」を高めている。</p>
		

<p>⑦学校は、スポーツフェスティバルや学習発表会を子どもたちが自ら創り上げるものになるよう取り組みを進め、子どもたちの「自己有用感」を高めている。</p>	<p>⑧ 学校は、栄養士・給食調理員・食材の生産者への感謝を行動に表す食育の充実に取り組み、子どもたちの「相手意識」「行動力」を高めている。</p>	<p>⑨ 学年の教員みんなで子どもたち一人ひとりを指導していくという取組は、学校の最上位目標を達成したり学級間格差等を防いだりする学校組織の充実に効果的である。</p>
		
<p>⑩学校は、保護者・PTAや地域関係団体の方々等と連携し、教育活動に取り組んでいる。</p>	<p>⑪学校は、おたよりやホームページ、すぐーるの配信により、情報を発信することができている。</p>	<p>⑫(該当学年のみ回答)学校が取り組んでいる算数の習熟度別指導・少人数指導は、学力向上に効果的である。</p>
		

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

1月に実施した「令和7年度教育活動保護者アンケート」について、集計結果等を次の通りご報告いたします。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。感謝申し上げます。特に、最後の質問項目ではテーマを設定したにもかかわらず、多用な中で日々の指導・業務に取り組む教職員を評価し、ねぎらってくださるお言葉をたくさんいただきました。このことは、教職員の今後の励みになります。感謝申し上げます。アンケート結果とそれを踏まえた学校の見解について、保護者・地域の方から構成される「学校運営協議会」にて報告し、ご助言をいただいたうえで保護者の皆様にお知らせします。

「分からない」という回答が10%以上あった項目が6つありました。質問項目は増えた一方、昨年度の7つから減少しましたので、学校ホームページにて「学校生活の様子」と「今日の給食」をお知らせするようにしたことは、1つの成果ととらえております。引き続き、可能な限り情報の積極的発信に努めてまいります。

いただいた意見のうち、複数あったご意見に対する学校の考えをお伝えします。

1)「主体性の育成(自分の考えを持ち、自分たちで決定し、自分たちで学校生活と自分を作り上げる子どもの育成)」について

趣旨に賛同くださる意見を複数いただいた一方、「小学生には早すぎる。」「子どもたちに投げっぱなしにならないように。」「極端な方向に進まないでほしい。」というご意見もありました。

学校だよりでもお伝えしているように、主体性の育成は学習指導要領等でも求められており、小学校段階に適した形で子どもたちへの指導・働きかけに取り組むべきものであると考えております。また、同じく学習指導要領等に「適切な指導・支援のもと」と示されており、杉森小学校としても、主幹教諭を中心として教員がきめ細やかに検討したうえで指導・支援にあたってまいります。決して課題を子どもたちに投げっぱなしにすることは致しません。むしろ、教員が子どもたちに任せる部分と指導・支援のバランスをとること、そのために子どもたちの様子を丁寧に見取ることに大変な尽力を要すると考えています。学校として、主体性の育成に向けて精一杯取り組んでまいります。もし、お子さんが学校での学習・生活で気になることを話すようであれば、ぜひ学年担任に遠慮なくご相談ください。

2)いじめの未然防止・早期発見・早期対応について

まず、学校としては、「いじめは人として絶対に許されない」という強い認識を全教員で共有し、いじめの未然防止、早期発見、発生時の迅速な対応に取り組んでいます。

子どもたちが安心して生活できる環境づくりを目的に学年を運営し、複数の教員がローテーションで指導にあたり、多様な視点から子どもたちを見守る体制を整えています。また、年3回のいじめ防止の授業を通じて、「いじめは絶対に許されない」ことを学ぶ機会を継続しています。早期発見の取組として、毎月「こころのアンケート」を実施し、子どもたちの変化や悩みに気付けるよう努めています。あわせて、相談窓口の周知や、子どもたちが相談しやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。

いじめが確認された場合には、その日のうちに校長をトップとした「いじめ対策委員会」を開催し、迅速に対応を協議します。まずは、いじめを受けた子どもの心に寄り添いながら、当事者や周囲の子どもたちから丁寧に話を聞いて事実確認を行います。そのうえで、必要な指導や関係する保護者様への連絡等を行い、いじめに至った要因や背景を慎重に探りながら、保護者様や必要に応じて関係機関と連携し、改善に向け対応します。指導後も、いじめが再発生することのないように、学年担任・専科等の教員が見守り、丁寧にケアを続けています。

ご家庭でも、日頃から「人の嫌がることを言ったりやったりしてはいけないよ。」という価値観をお子さんに伝えてください。また、お子さんがいじめや友人関係等で悩んでいる様子があれば、「先生に相談してごらん。きっと一緒に考えてくれるよ。」と声をかけ、お子さんが安心して相談できるよう支えてください。気になることがありましたら、学年担任や学校まで遠慮なくご相談ください。

3)スポーツフェスティバルについて

昨年度もお伝えした通り、この行事を計画するにあたっては、運動または運動会を苦手とし取り組むことが難しい子どもも少なくないことから、「すべての子どもたちが運動に親しむ・楽しむ」ことの充実を第一とし、その象徴として「運動会」を「スポーツフェスティバル」という名称にしたうえ、子どもたちの体力や暑さ・運営面などを考慮して従前の運動会からの改善・充実をめざしているところです(この数年、天候にも左右され、計画通りにスポーツフェスティバルを開催できず、学校としても悔しい思いをしているところです)。

また、今年度よりかつてのような「決まった演技・競技を教師の見本をなぞらえて行う」ことを脱し、「子どもたちが自分たちで考え、自分たちで創り上げ自分たちで運営することを教員がサポートしていく」スポーツフェスティバルとなるよう、取り組みました。子どもたちは「すべての子どもたちが運動に親しむ・楽しむ」を第一に取組内容を検討し、実行委員を中心に練習に取り組みました。もちろん、取組の中でねらいがぶれないよう、主幹教諭と体育担当を中心として学年担任がきめ細やかに指導・支援をしてきました。

実施後の保護者アンケートでは、子どもたちの活躍を評価いただいただけでなく、取組の改善により「子どもがスポーツフェスティバルに前向きに取り組むことができた」「登校する上での心配事がなくなった」などの意見もいただいております。「すべての子どもたちが運動に親しむ・楽しむ」ねらいにせまることができたのとらえております。今後もこの方針を継続し、さらなる充実を図っていきたいと考えております。

4)「補助教員・職員の配置」等について

増やしてほしいというご要望もありますが、東京都または調布市の事業決定に基づき配置されており、学校だけでは改善が難しいです。また、今年度3・4年生の算数習熟度別指導について、「習熟度別指導がなかったのは不公平。」とのご意見をいただきましたが、講師の補充に粘り強く取り組んだものの叶わなかったため、実施することができませんでした。学校としても大変残念です。恐れ入りますが、ご了承ください。

5) 諸連絡の在り方について

学校は、知らせる対象・目的などにより連絡の仕方を使い分けるようにしています。

- ・保護者様への連絡は原則すぐ一での配信とする。ただし、給食日より・献立表と、申し込み票など記入・提出が必要なものは紙媒体にする。
- ・翌日の予定など子どもたちへの連絡は、子どもたちが見られるよう Google classroom を使う（発達段階・指導状況も踏まえながら）。

一方、調布市や外部団体からのお知らせは紙媒体で学校へ届くことが多いため、それを配布するしかありません。「媒体が複数となるのは、確認に手間がかかる。」とのご意見をいただきました。お気持ちはごもっともですが、状況をご理解いただけますと幸いです。

その他にも、様々なご意見をいただきました。それらについても、今後の参考とさせていただきます。

なお、お子さんの学校生活について気になる点がありましたら、どうぞ遠慮なく学年担任までご相談ください。「子どもの数は命の数 心の数 だから笑顔の数でなければならない。」これを共有し、学校の教育活動を進められるよう教職員一同取り組んでまいります。一方、学校生活の充実・子どもたちの成長には、保護者・地域の皆様のご協力も欠かせません。学校の教育活動に、皆様のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

